

庄内藩酒井家神田橋上屋敷跡

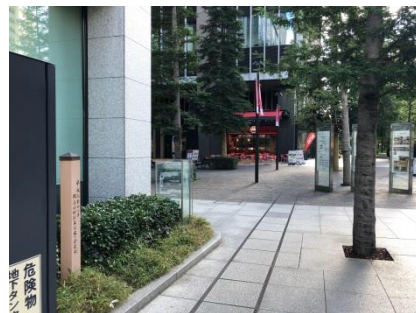
庄内藩は、徳川四天王（酒井忠次、本多忠勝、榊原康政、井伊直政）に数えられる酒井忠次の孫である忠勝が元和 8 年（1622 年）に信州松代から出羽鶴ヶ丘に転封となったことから始まります。以後、幕末まで北方の外藩に対峙しました。

庄内藩酒井家の上屋敷は、神田橋御門そばに位置し、その跡地を示す標柱は、日本政策金融公庫等が入る大手町フィナンシャルシティ・ノースタワー敷地内の日本橋川側にあります。

- ◆大手町フィナンシャルシティ・ノースタワー敷地内 庄内藩酒井家神田橋上屋敷跡
東京都千代田区大手町 1 丁目 9 - 4 大手町フィナンシャルシティ
東京メトロ 千代田線「大手町駅」出口 C 2 c より徒歩 2 分
都営地下鉄 三田線「大手町駅」出口 C 2 c より徒歩 2 分



上屋敷跡碑



大手町フィナンシャル
シティ敷地内



大手町川端緑道
案内図

作成：2019. 8. 30